

令和3年度 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査結果を受けた取り組みについて
武雄市立（山内西）小学校

1 生徒の実態

(1) 学習状況調査結果の推移

	国語		算数	
	5 年時	6 年時	5 年時	6 年時
H28入学 現6年生	65.9		44.0	
	(0.95)		(0.85)	
		62.0		64.0
		(0.95)		(0.93)
R3 正答率の全国比		0.96		0.91

◎5年時は佐賀県学習状況調査、6年時は全国学習状況調査の推移。0

◎上段は平均正答率、下段()は県平均を1としての比較。

◎「令和3年正答率の全国比」は全国平均を1としての比較。

(2) 学習状況調査・意識調査から読み取れる実態

国語

○言語…主語・述語の関係や修飾・被修飾の関係についての理解が不十分で、語彙が少ないなど、語彙力にも課題がある。

○読むこと書くこと…目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約したり、自分の考えが伝わるように書いたりすることに課題がある。

算数

○図形…図形の定義や性質を利用して、面積を求めることに課題がある。

○数と計算…数量の関係を捉えて正しく立式することや、計算結果を基に問題場面を振り返ることに課題がある。また、筋道を立てて思考することが苦手で、思考の必要な問題では無回答率が高い。

意識調査

○ゲームの時間と学習の時間との切り替えがうまくできない児童が多い。

○「人の役に立ちたい」や「人を助けたい」など自己有用感を大切に思う児童が多い。

2 改善に向けた具体的な取組

(1) 授業づくり、指導方法の改善・充実のための重点取組

○「授業づくり123」の自己評価のもと、今後も授業改善（主体的に授業に取り組ませること）に取り組んでいく。重点ポイントとしては2項目ある。

・学習意欲やめあてを児童に意識させた授業づくり

・自分の意見をもたせ交流して考えを深めていく授業づくり

○どの教科においても「知識・技能」の習熟を反復練習して図ることが必須で、その上で応用問題や発展問題に取り組ませる。書き込み指導を改めて行い、自ら学ぶ習慣を身に付けさせる。

・国語…言語分野を鍛えることのできる教材を計画的に活用する。作文指導では目的や条件を明確にして文章を書く時間を設ける。

・算数…何を問われているかを把握させ、図・式・言葉を利用して順序立てて思考させる。また、思考する際には具体物を利用して数理処理を行わせたり量感をもたせたりする。

(2) (授業以外) 児童・生徒の課題改善のための重点取組

○読書内容の充実を図るために、図書委員会の活動をさらに活発化させ読書推進の活動を行う。(図書館だよりの発行、図書館祭り開催など)

○国語の授業で学習した作者の本を紹介し、様々な読み物に触れる機会をつくる。

○家庭学習では、「家庭学習のてびき」をもとに、学年に合った時間や内容を随時振り返って取り組ませる。

○生活習慣について家庭と連携し、生活習慣の見直しを図る。

○ゲームやSNS等、インターネットにつながる機器の利用方法については、お便りや学習の機会を作り、児童だけでなく保護者の理解啓発を図る。

○学級活動(朝の会や帰りの会を含む)や児童会活動での児童の自己肯定感を育む活動を取り入れる。「今日のきりり」や「ありがとうを伝えタイム」など